

東駿河湾環状道路整備促進期成同盟会 要望活動

日 時:令和6年11月26日(火)

相 手:国土交通省・財務省

面会者:国土交通省 吉井 政務官、吉岡事務次官、佐々木 道路局次長

出席者:頼重沼津市長、込山小山町長、関清水町長、田代御殿場市副市長

勝俣衆議院議員、牧野参議院議員、細野衆議院議員、若林参議院議員

<要望内容>

- 一、経済成長を支える人・モノ・情報の移動を安全で円滑に行うことができるよう国土幹線道路ネットワークを構築し、且つ激甚化・頻発化する災害に耐えうる強靱な都市圏を形成するため、東駿河湾環状道路西側区間のうち未事業化区間(愛鷹 IC(仮称)~原 IC(仮称))について、早期事業化を図ること。
- 一、東駿河湾環状道路西側区間のうち事業中区間(沼津岡宮 IC~愛鷹 IC(仮称))の予算拡大による事業推進・早期開通を図ること。
- 一、東駿河湾環状道路(沼津岡宮 IC~大場・函南 IC)の定時性を確保するため、全線における4車線化を図ること。
- 一、東駿河湾環状道路の整備を推進するため、必要な予算を確保すること。
- 一、東駿河湾環状道路を基軸とした道路ネットワーク構築に必要な周辺の道路整備や老朽化対策を推進するため、社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の所要額を確保すること。
- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、頻発化する災害や物価高騰なども踏まえ、継続的・安定的に対策を進めるため、令和6年度補正予算において、例年を大幅に上回る規模で、必要な予算・財源を確保すること。
また、国土強靱化実施中期計画の策定に早期に着手し、令和6年度内に完了させ、必要な予算・財源を別枠で確保すること。
- 一、大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと。
- 一、山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、資材価格などの高騰も踏まえ、所要額を満額確保すること。また、我が国の成長力・国際競争力強化に資する令和6年度補正予算を速やかに編成すること。



